

## 課題本アンケートご協力をお願い

次々回の課題本を投票で決めたいと思います。

下記4作品の中から「課題本をきっかけに読んでみたい」「読んだことはあるけど他の方と意見交換・感想を共有してみたい」作品を一つお選びください。

| 番号 | タイトル     | 著者名            | 頁   | あらすじ   |
|----|----------|----------------|-----|--|
| 1  | こころ      | 夏目漱石           | 384 | あなたはそのたった一人になれますか。親友を裏切って恋人を得た。しかし、親友は自殺した。増殖する罪悪感、そして焦燥……。知識人の孤独な内面を抉る近代文学を代表する名作。  |
| 2  | 闘争領域の拡大  | ミシェル<br>ウエルベック | 210 | 今一度思い出してみしてほしい。あなたが闘争の領域に飛び込んだ時のことを。「自由」の名の下、経済とセックスの領域で闘争が繰り広げられる現代社会。自意識の強い顧客、列車の女子学生、同僚の馬鹿女、薄着の看護師…。愛を得られぬ若者二人は出口のない迷路に陥っていく。   |
| 3  | みずうみ     | 川端康成           | 208 | 誰にも言っちゃ、だめだよ。ふたりだけの秘密……。高校教師の桃井銀平は、教え子の久子と密かに愛し合うようになる。だが、二人の幸福は長く続かなかつた——。<br>湖畔で暮らしていた初恋の従姉、蛍狩りに訪れた少女など、銀平が思いを寄せた女性たちの面影や情景が、中世の連歌のように連想されていく。作家の中村真一郎が「戦後の日本小説の最も注目すべき見事な達成」と評した衝撃的問題作。 |
| 4  | アヘン王国潜入記 | 高野秀行           | 392 | ミャンマー北部、反政府ゲリラの支配区・ワ州。1995年、アヘンを持つ者が力を握る無法地帯ともいわれるその地に単身7カ月、播種から収穫までケシ栽培に従事した著者が見た麻薬生産。それは農業なのか犯罪なのか。小さな村の暖かい人間模様、経済、教育。実際のアヘン中毒とはどういうことか。「そこまでやるか」と常に読者を驚かせてきた著者の伝説のルポルタージュ、待望の文庫化。       |

お名前 \_\_\_\_\_

1~4の中から選び、右の枠に番号の記入をお願いします。  
(複数回答された場合はすみませんが無効票となります)

上記4作品の他に課題本にしてみたい作品がありましたら、こちらにご記入ください。次回投票時の候補にあがっている……かも？

裏面もあります！